

## 全日本軟式野球福岡県連盟 福岡市支部

【設立年月日】1946（昭21）年8月26日

【加盟年月日】1962（昭37）年1月25日

【歴代会長】

川原 喜久夫

阿部 源 蔵

進藤 一 馬

桑原 敬 一

山崎 広太郎

石川 浩二郎

（2006（平18）年～現在）

【歴代理事長】

・1946（昭21）年～1977（昭52）年

日隈 又 蔵

・1977（昭52）年～1980（昭55）年

柴田 春 雄

・1981（昭56）年～1982（昭57）年

西村 春 美

・1983（昭58）年～1992（平4）年

吉村 齊

・1993（平5）年～2001（平13）年

大隈 君 雄

・2002（平14）年～2006（平18）年

村下 和 之

・2007（平19）年～現在

野村 天 朗

### 【沿革】

1915（大4）年開催された朝日新聞社の第1回全国中等学校優勝野球大会と、その後になって開催された毎日新聞社の春の全国選抜中等学校野球大会などが全国の青少年に関心と刺激を与え少年の間で非常な勢いで盛んになりました。この頃、硬式野球を行うまでに至らない少年たちはテニスボールなどによって野球を楽しんでいました。

1919（大8）年糸井浅次郎、鈴鹿栄両氏は少年に適し硬式のように危険がなく、しかも少年たちに野球の指導が容易にできるボールにしたい着想から研究努力した結果、現在使用されているボールが誕生し、少年野球の普及とともに一般大衆スポーツとしても急速に発展してきたのです。1941（昭16）年、第2次世界大戦の勃発により一時中絶状態となりましたが、占領下の1946（昭21）年混とんたる世情と物資欠乏のさ中、第1回全日本軟式野球大会（のちの天皇賜杯全日本軟式野球大会）が16チームの参加によって京都において開催されました。この大会は敗戦の痛手から立ち上がろうとする国民1人1人の心に潤いを与え建設的意欲をもりたてたものというべく有意義な大会でした。



第13回西日本軟式野球選手権大会出場の  
NECソフトウエア九州

その後この大会は各都道府県代表各1チームの参加で行われるようになり、1948（昭23）年に天皇杯が下賜され、これを契機として軟式野球は発展の一途をたどり、現在全日本軟式野球連盟傘下チーム数は社会人チーム36,845、少年チーム20,284、大学協会、専門学校、還暦連盟の約120万人の競技人口となっています。1957（昭32）年からすべての軟式野球人に全国大会に出場できる希望をあたえることによって、軟式野球の底辺拡大に大きな成果をもたらすことができるという目的で、B・C級を対象とした全国大会である高松宮賜杯全日本軟式野球大会（B級を一部、C級を二部と呼称）が開催されております。なお、1988

(昭63)年よりこの大会を一部、二部分離して開催することとなっています。以上の二大会は毎年一回全国各地で開催されているほか国民体育大会に軟式野球競技として第一回から実施。その他1979(昭54)年よりB・C級を対象とした東・西日本軟式野球大会(B級を一部、C級を二部と呼称)が毎年実施されています。

また、1970(昭45)年には少年野球が組織化され、少年一部(高校生年齢層のクラブチーム)、少年二部(中学生年齢層のクラブチーム)、少年学童部(小学生年齢層のクラブチーム)の3部門にわかれ、全国各地でそれぞれ少年野球大会が開催されています。加えて1975(昭50)年からは少年二部による全日本少年軟式野球大会が開催されていましたが、1971(昭56)年よりこれに変わり学童部による全日本学童軟式野球大会が実施され、最近では学童の野球が非常にさかんになっています。

1984(昭59)年度より少年二部の大会が復活し、新たに第1回全日本少年軟式野球大会として開催されることとなりました。



第65回国民体育大会出場の福岡サニクリーン

国民体育大会の軟式野球競技は一般社会人(成年の部)と少年一部(少年の部)が行われていましたが、1988(昭63)年第43回京都国体より少年の部が廃止され、新たに成年一部、成年二部となりました。また、1989(平元)年第44回北海道国体より成年一部、成年二部に加え壮年の部が創設されました。別に規程された順位決定方法による合計

点で天皇杯順位が決定されることになっています。学童大会は、1988(昭63)年より各都道府県代表のフルエントリーとなり、1994(平6)年より少年二部を少年と改称。1995(平7)年、創立50周年を機に高円宮憲仁親王殿下を名誉総裁にお迎えし、1997(平9)年第17回全日本学童軟式野球大会より高円宮賜杯が下賜されました。Aクラスの大会として1997(平9)年より西日本選手権、1998(平10)年より東日本選手権が新設されました。

なお、1999(平11)年度第54回熊本国体より種別の呼称を一般A(従来の一部)、一般B(従来の子部)、成年(従来の子年)と変更しました。また2005(平17)年より成年層の全国大会として日本スポーツマスターズに参加しています。国体改革2003により2008(平20)年大分国体より成年男子の一種別開催となりました。

2002(平14)年11月21日高円宮殿下のご逝去により、2003(平15)年1月21日第二代の名誉総裁として憲仁親王妃久子殿下にご就任いただいております。

福岡市支部では、一般55チーム・1,056名、壮年1チーム・20名、少年(中学)62チーム・1,201名、学童(小学生)55チーム・1,388名の計173チーム・3,665名が軟式野球を通じて、自己の体力向上・精神修養に日夜努力をしております。